

総長あいさつ

九州大学総長 石橋 達朗

「九州大学教員ハンドブック 2022」を刊行しました。このハンドブックは、新規採用の教員や学術研究員を主な対象として、大学の運営方針の共有と法令順守の徹底など、本学での教育研究活動の一助とするために、本学の理念・方針、運営組織、教育研究体制、サービス・倫理規程、施設設備利用、各種事務手続等の広範な事項を簡潔に分かりやすく掲載する形で、2010年から刊行しています。



近年、少子高齢化、逼迫した財政状況、不安定な国際情勢、深刻化する環境問題、加えて、2019年に端を発した新型コロナウイルス感染症の世界的流行など、私たちはさまざまな問題に直面しています。この劇的な社会情勢の変化の中、新型コロナウイルスと共存しながら人間社会の営みも維持していく with & beyond コロナ時代の持続可能な社会の再構築が必要です。これまで、大学が培ってきた叡智を結集し、新しい時代の困難な課題への解決策を示していくことが、大学に課せられた重要な役割です。持続可能な社会の発展と人々の多様な幸せ(= well-being)を実現する社会に貢献していくためには九州大学も新たなステージへ踏み出さなければなりません。

九州大学は2021年11月22日に「指定国立大学法人」に指定されました。「指定国立大学法人」とは、文部科学省が、我が国の大学における教育研究水準の著しい向上とイノベーション創出を図るため、文部科学大臣が世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学法人を「指定国立大学法人」として指定するものです。この指定申請を契機に、本学が目指す「総合知で社会変革を牽引する大学」を実現するビジョンとして「Kyushu University VISION 2030」を策定しました。その目指す姿は、多様な「知」と「人材」を結集し、新たな価値創造の基礎となる研究とイノベーションの創出を牽引し、自然科学系と人文社会科学系、さらにはデザインを加えた複数の分野の「知」による「総合知」によって、社会的課題の解決とそれによる社会・経済システムの変革に貢献する「総合知で社会変革を牽引する大学」です。1911年に創立された歴史と伝統を踏まえ、我が国を代表する基幹総合大学として更に発展していきたいと考えています。

新たに本学の教員・学術研究員となられた皆様におかれましては、本学のビジョンをご理解いただき、本学における教員生活を送っていただく際のガイドとして本ガイドブックを活用の上、充実した教育研究活動を展開されることを期待いたします。